

すぐそこにある何気ない日常に溢れる“ひろせ”の魅力。たくさんの写真で集めてみました。



ハイクオリティな宮城広瀬高等学校写真部の作品は、今年も皆さんが注目されていました。

# フォト一撮る・観る・想うー PHOTO HIROSE 2017 ひろせ 開催しました♪



『一撮る・観る・想うーPHOTO HIROSE2017』を開催しました。PHOTO HIROSEは、地域を題材にしたミニ写真展です。十人十色、様々な人の感性によって撮られた写真が持つ表現力で、地域の魅力を広めることを目的に2014年にスタートし、今年で4回目の開催となります。

ふるさと宮城地区の美しい自然景色から、普段、皆さんが何気なく歩くいつもの散歩道。人から人へ受け継がれていく伝統芸能や町内のお祭りなどの行事、青春時代を過ごした学校での学生生活。地域にはあらゆるところに、魅力的な瞬間が散りばめられています。地元アマチュア写真家の皆さんに、そうしたすぐ身近にある地域での出来事や、暮らしのなかでの“一瞬”を切り取って、一枚の写真に収めていただきました。



見る人を惹きつけるような写真をたくさん撮っていきます。

写真展の最初は、「宮城県宮城広瀬高等学校写真部」による見事な写真の数々です。全日本写真展等での受賞者を輩出し、部の活動としては3年前からデジタル写真を撮り始め、活発に活動する広瀬高校写真部。2つのテーマに絞って撮影に臨み、部としては「人」をテーマに据え、個人でもう1つテーマを定めて撮影しています。

今回は、宮城県高等学校写真展で銀賞を獲得した「野良」や、入選作品「人の夢」などの作品をご覧いただきました。今後は先輩方の撮影技術や撮影に臨む姿勢を受け継ぎ、見ている人を惹きつけられるような写真をたくさん撮れるように頑張りたいとのことです。



撮るも観るも、そして、想うも写真の楽しみ方はたくさんあります。



今年のPHOTO HIROSEは、ホールのお休み期間を利用して、ホワイエまで展示エリアを拡大。作品数を増やして皆様にご覧いただきました。



まちの姿が、ひとの呼吸がいきいきと表現されています。



続いては、地元写真グループの「広瀬フォトクラブ」の皆さんの作品です。広瀬フォトクラブのメンバーは現在9人。町内会の行事や、「関山街道フォーラム協議会」と協力しての仙山線撮影、地域の歴史にまつわる写真など、地元に関心した写真を手掛けています。今回は、地域の交通の要所、そして生活の交差点である仙山線愛子駅の季節のうつろ姿を収めた「愛子駅前大通り」や、地元保育施設での園児たちの生き生きとした姿を捉えた「運動会 あれな〜あに」など、地域の暮らしをテーマとした写真を多数展示しました。



最後は、昨年参加の「広瀬フォトサークル写楽人（シャラット）」の皆さんの作品です。写楽人は、広瀬市民センターの講座を機に結成されました。初心者からベテランまで交流を深めながら活動し、主に宮城地区の自然や文化等を楽しみ、広く地域の魅力を発信することを目指しています。仲睦まじげに花火に興じる子ども達を写した「夏祭り」や、田んぼの収穫を喜ぶ「めぐみ」など、宮城地区らしさや豊かな自然を表現した写真を展示しました。多くの方が、身近にある景色や人物の姿に、どこか親しみを覚えたのではないのでしょうか。



“地域”の持つ魅力にあらためて気づかされることが多く、その想いが少しでも多くの方にお伝えできればと撮影に臨んでいます。



広瀬文化センターでは、“マイギャラリーinひろせ”などの運営をもって、お客様や地域の皆様に文化活動発表の場をご提供しながら、施設の賑わいのある空間創出を目的とした“賑わい空間創出事業”を進めています。

PHOTO HIROSE はロビー空間を活用して開催しましたが、今後も様々なかたちで、身近な芸術作品を発表する機会のご提供と、賑わいに満ちた文化センターの空間づくりを進めていきますので、どうぞご協力をお願いします。

- 期 間 平成29年12月5日（火）から12月17日（日）まで
- 場 所 広瀬文化センター（1階ロビー・ホールホワイエ）
- 協 力 宮城県宮城広瀬高等学校写真部、広瀬フォトクラブ、広瀬フォトサークル写楽人
- 来場者 延べ1,500人